

日に日に秋が深まって参りました。



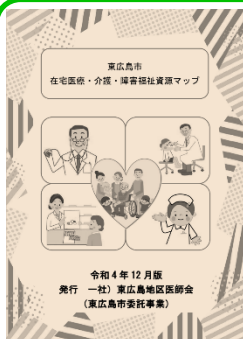
皆様におかれましては、日頃より地域連携室「あざれあ」の活動に対し、ご理解ご協力いただき厚くお礼申し上げます。今月は、市民公開講座や資源マップ、記念誌についてご報告いたします。



令和 4 年度 東広島市市民公開講座開催

10月29日(土)に、東広島芸術文化ホールくらら 小ホールにおいて、令和4年度の東広島市市民公開講座を開催しました。今回の基調講演は、マスコミを通じて全国に脱水症や熱中症を予防するために普及活動をしておられる済生会横浜市東部病院 患者支援センター長兼栄養部部長の谷口英喜先生にお願いしました。約80人の市民が、熱心に聴講されました。シンポジウムでは、まず訪問看護師や地域包括支援センターの主任ケアマネジャーから、脱水症・熱中症患者について事例紹介があり、その後事例をもとに①早めに気づき支える ②医療機関での診察のタイミング ③地域で支える の3つのテーマで意見交換をしました。谷口先生からは、専門職に対しては日頃の健康観察のポイントを、また地域の皆さんに対しては運動時の水分補給のポイントや、受診のタイミングについて助言をいただきました。最後に東広島市健康福祉部地域包括ケア推進課の神尾課長から、誰もが共に支え合う「地域共生社会」の実現に向けた東広島市の取組み「ぐるっとマルごと東広島」について紹介がありました。一人一人が、住み慣れた地域で健康に暮らすことを考えるきっかけとなる市民公開講座となりました。

「令和4年度版 東広島市 在宅医療・介護・障害福祉資源マップ」 「地域連携室あざれあ 記念誌」 完成



令和4年度版の資源マップが完成しました。この1冊に東広島市の「内科」「歯科」「調剤薬局」「訪問看護」に加えて、医療的ケアが必要な人のための「障害福祉サービス事業所」情報が集約されています。今年も「活用の手引き」を作成しましたので、合わせてご活用ください。2200冊印刷し、掲載機関や介護保険サービス事業所、相談支援機関、地域センターなどに配布しています。【問い合わせ】(TEL) 082-493-7360 (地域連携室あざれあ)

地域連携室あざれあは今年開設10年の節目を迎え、この度記念誌を作成しました。在宅医療・介護連携の推進に向けて、医師会員をはじめ、行政、医療・介護・福祉専門職、地域住民と共に歩んだ10年であったように思います。まだまだ道半ばです。事業の深化に向けて、これからも地道に努力を続けて参ります。

